

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	3 単位	学年	3 年	コース	アカデミー
使用教科書		新詳地理探求		使用副教材等		新詳高等地図(2年次「地理総合」で使ったもの)			
目標		社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。							
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				
	地理に関する諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深める。				
評価方法	ワークシート 振り返りシート テスト		ワークシート 振り返りシート テスト		ワークシート 振り返りシート テスト 授業中の取り組み				
担当者からのメッセージ	「地理探究」では、「地理総合」で身に付けた作業的・体験的な学習で得た資質・能力を前提に、学習を進めていきます。一、二学期で知識や概念を習得し、二学期の終わってから三学期にかけて、皆さん自身が「持続可能性を踏まえた日本の国土像」を構想します。主体的に取り組む、責任ある公民としての自覚を高めましょう。								

学期	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 自然環境の諸事象の空間的な規則性などを理解し、さらに地球環境問題を理解する。 自然・社会的条件との関わりなどに着目し、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 よりよい社会の実現を視野に入れ、見出した課題を主体的に追究する。	自然環境の諸事象の空間的な規則性などを理解し、さらに地球環境問題を理解できている。(知識・理解) 自然・社会的条件との関わりなどに着目し、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現できている。(思考・判断・表現) よりよい社会の実現を視野に入れ、見出した課題を主体的に追究している。(主体的取り組み)
	第2章 資源と産業 資源・エネルギーや農業、工業などの空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解し、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して主題を設定し、空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察・表現し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。 第3章 交通・通信と観光、貿易 交通・通信と運輸、観光などの空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解し、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して主題を設定し、空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現し、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	資源・エネルギーや農業、工業などの空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。(第2章 知識・理解) 交通・通信と運輸、観光などの空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。(第3章 知識・理解) 場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して主題を設定し、空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察、表現している。(第2、第3章 思考・判断・表現) よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようしている(第2、第3章 主体的取り組み)。
2	第4章 人口、村落・都市 人口、都市・村落などに関わるできごとについて、空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解し、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現し、主体的に追究する。 第5章 生活文化、民族・宗教 生活文化、民族・宗教などに関わるできごとについて、空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解し、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現し、主体的に追究する。	人口、都市・村落などに関わるできごとについて、空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。(知識・理解) 関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察、表現し、主体的に追究している。(思考・判断・表現) 生活文化、民族・宗教などに関わるできごとについて、空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。(知識・理解) 関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現し、主体的に追究している。(思考・判断・表現)

	期末	第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 諸地域にみられる地域的特色や地球的課題、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現する。よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	諸地域にみられる地域的特色や地球的課題、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。(知識・理解) 地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) よりよい社会の実現を視野に、地域的課題を主体的に追究しようとしている。(主体的取り組み)
3	学年末	第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野に、わが国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現する。	持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野に、わが国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。(思考・判断・表現)(主体的取り組み)